



楽しみいっぱいの水あそび



「きょうはどろんこあそび?」「みずあそび?」と毎朝 聞いてくれる子どもたち。ひかりグループの子どもたちは、夏ならではのどろんこあそび、水あそびが大好きです。いつもはなかなか進まない着替えも“はやくみずあそびをしたい”思いから、あっという間に着替えてくれます。また、言葉でのやりとりが上手になったことで「すみません、リンゴジュースください」「ありがとうございます」や「ハンバーグください」「これかけたらおいしいですよ」など、ちょっぴり大人の口調を真似したお店屋さんごっこを楽しんでいます。

先日ボディーソープの泡を使っておままごとに使う布団や抱っこ紐の洗濯ごっこをしました。洗って、干して、洗濯物を取り組んで大忙しの子どもたち。だけど、どこか嬉しそうな表情が印象的でした。水やどろんこの感触あそびだった昨年から比べると、今年は大きくあそびの広がりを感じる暑い夏でした。



ひかりグループ（2歳児）担任

わくわくパーティー

6月11日にわくわくパーティーがありました。子どもたちが頑張って準備したお店がずらりと並んでおり、3歳児は忍者の世界、4歳児はわくわくカフェ、5歳児はやま商店街をしました。前日からわくわくしてなかなか眠れない子どもたちもいたようです。乳児クラスは、お店を回り様々なコーナーをゆったりと楽しみました。幼児クラスは、「いらっしゃいませ〜」と言う声と共にお客さんに食べ物やジュースを渡してあげたり、アクセサリーを付けてあげるなど一生懸命店番をする姿が見られました。様々なクラスの友だちとも関わり、充実した1日になりました。



ひこうきグループ（3歳児）担任

びわこおとまり保育

4月に聞いた「やまグループになって楽しみなこと」1番の琵琶湖でのおとまり保育。数日前から天気予報は雨…みんなであてるてる坊主を作り、大好きな歌「にじ」を空に向かい歌い晴れますように…とお願いしました。しかし当日は思い届かず雨…。でも子どもたちの笑顔は太陽の様に輝いていました。琵琶湖について、カップを着て浜辺を散歩!海鳥を見つけたり、湖に足をつけたり、雨の散歩も良いものでした。室内で行ったスイカ割り、キャンプファイヤー。友だちと入る五右衛門風呂。浜辺でみる花火。どれも子どもたちにとって思い出にのこる事ばかりでした。朝は、波の音と朝日で目覚め、都会では味わう事の出来ない朝を迎えました。やっと湖にも入る事ができました。ジャンプ台に挑戦したり、平和の子恒例の園長先生からのダイブ!!いつも子どもたちの笑顔がありました。たった一泊二日でしたが、心が大きく成長した子どもたちです。園に帰ってからの家族との再会「おかえり」と抱きしめてもらう子どもたちの嬉しそうな顔は素敵なものでした。保育園生活も残り約半年になりました。たくさんの思い出を作りたいです。



やまグループ（5歳児）担任

ひんやり寒天ゼリーあそび♪



暑い日が続いていますが、そんな日は氷や寒天ゼリーなどいろんな素材を使って感触遊びを楽しんでいます♪寒天ゼリーを初めて目にした時はキョトンと不思議そうな表情をして手を引っ込め慎重な様子でしたが、保育者が側で触って遊んでみると同じように手を伸ばして、ギュッと握っていました。慣れてくると両手で大胆に触り、気が付くと顔まで寒天ゼリーが!ニタ〜と笑って楽しそうな表情にこちらまで笑顔になります♪さらに、寒天ゼリーをおたまで上手にすくうと手に持ったカップの中に入れており、

思わず「そんなことまでできるの!？」と驚かされました。

これからもいろんな素材を取り入れ、五感を養いながら子どもたちが楽しいと感じられるような保育を考えていきたいと思います。

ひよこ組（0歳児）担任

“できた!”

4月から駆け抜けるように過ごし、気がつけばもう8月。無我夢中の日々の中、ふと立ち止まって子どもたちを見てみると、成長を感じられる瞬間が増えてきました。そんな姿に嬉しくなり、思わず「できるようになったね。」と声を掛けると、子どもたちは“待ってました!”と言わんばかりの、嬉しそうで誇らしげな表情を見せてくれます。



こんな驚きの場面もありました。まだまだ“待つ”ということが難しい様子の子たちですが、ある時



「お地藏さんに変身して待っていてね。」と声を掛けられると、驚くほど静かに待つことが出来たのです。少しの工夫が、子どもたちの“できた”を引き出すこともあると実感しました。

これからも、気づかぬうちに育っている“できた”を見逃さず、時にはそれをそっと支えることができる保育者でありたいです。

すみれ組（3歳児）担任

ちがっていることって素晴らしい

毎年8月に行っている命と平和の集い。近年、保育所にも外国にルーツのある子どもが増えていることもあり、幼児クラスは『せかいのひとびと』という絵本をスクリーンに映し、読み聞かせを行いました。



絵本にはたくさんの国の人のイラストが描かれており、子どもたちは絵の中で目や肌の色の違いに気付いてくれました。服装も家の造りも違う、今住んでいる環境とはかけ離れた風景に「ええ〜!」と目を丸くし興味津々な子どもたち。「〇〇くんも言葉が違うもんね」と気付きもありました。



「もし世界がすべて同じ色、同じ形だったらどう感じる…?人も物も、いろんな色、形があった方がワクワクするよね。」と、みんなで感じたことを話し合いながら、“ちがっていることって素晴らしい”を再認識できた機会となりました。

たんぽぽ組（4歳児）担任